

# ミミズバイ

か めい  
科名 ハイノキ

がくめい  
学名 *Symplocos neriifolia* Siebold et Zucc.

べつ めい  
別名



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶ  
分 布 ほんしゅう しこく きゅうしゅう りゅうきゅう ちゅうごく  
本州、四国、九州、琉球、中国、  
インドネシア

は かたち  
葉 の 形 きょうちょうだえんけい  
狭長楕円形

は ぶち  
葉 の 縁 ぜんえん  
全縁

は さき  
葉 の 先 えいけい  
鋭形

は しゅるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい  
葉 の 付方 互生

は き ぶ くさびがた  
葉 の 基部 くさび形

み しゅるい かくか  
実 の 種類 核果

は な がくいろ しろいろ  
花・萼色 白色

せつ 説 しょうようじゅりん は じょうりょく しょうごうぼく こえだ ふと りょう わか かっしょく け  
照葉樹林に生える常緑の小高木、小枝は太くて稜がなく若いときだけ褐色の毛があ  
り、のちに無毛となつて赤褐色をおびます。葉は革質で無毛、表面に光沢があり裏面は多少  
ふんはくしよく はな しろいろ かじつ らんじょうちょうだえんけい よくとし あき くるむらさきいろ じゅく  
粉白色をおびます。花は白色、果実は卵状長楕円形で翌年の秋に黒紫色に熟します。  
めい 明 なまえ ゆらい かじつ あたま に せつ  
名前由来には果実がミミズの頭に似ているからつけられたという説があります。